

廃棄物処理法で禁止されています 野外焼却はやめましょう

家庭で出たごみは、適正に分別し、燃えるごみは市のごみ収集を利用するようにしましょう。

ごみを家庭で燃やして処理することは、一部の例外を除き法律で禁止されています。

物を燃やすと、有害なダイオキシン類が発生する可能性があるほか、臭いや煙が布団や洗濯物についたり、吸い込んで気分が悪くなるなど、周囲に迷惑をかける場合もあります。

また、風のある日に野外で物を燃やすと、火災の原因となる危険性があります。



れているのは、次のような場合のみです。ただし周囲の環境や天候、時間帯などに十分注意する必要があります。

- ・農業や漁業を営む上でやむを得ないものとして行われる

安全通信



問 瀬戸内警察署：0869-34-6110
 消防本部警防課：0869-22-1492
 予防課：0869-22-1493

普通救命講習を受講しましょう

普通救命講習とは、あなたの身のまわりで突然の病人やけが人が発生した際に、応急手当が素早くできるようにするための実技講習会です。

心臓や呼吸が止まった人の治療は1分1秒を争います。このような時に、付近に居合わせた人が速やかな応急手当を施せば、傷病者の救命率や社会復帰率が一層向上することが明らかになっています。

瀬戸内市内においても、普通救命講習を受講した人が病人やけが人に応急手当を行い、心肺蘇生法により一命をとりとめた症例もあります。

講習内容は、応急手当の必要性、心肺蘇生法および大出血時の止血法を中心とした3



時間の講習です。

市民の皆さんをはじめとする各種団体や市内の事業所などから希望があれば消防本部で受講、もしくは消防本部が指導者を派遣し講習を行うことができます。

大切な命を救うため、あなたも普通救命講習を受講しましょう。

■問い合わせ先
 消防本部警防課

る稲わらや海産物などの廃棄物の焼却
 ・「どんど焼き」など風俗慣習上必要な廃棄物の焼却
 ・軽微なたき火

■問い合わせ先
 生活環境課

すぐに連絡を
 飼いがいなくなったら

飼いがいなくなった場合には、すぐに生活環境課と警察に連絡をしてください。

市では、放れている犬を保護した場合、市ホームページ

に「迷い犬保護情報」として掲載しています。保護した日時や場所、犬の特徴や写真、収容期限などの情報を提供しています。

ただし、休日や夜間に保護した場合は、掲載まで時間がかかります。ホームページに掲載されていない場合でも、まずは生活環境課までご連絡ください。

保護した犬の飼い主が名乗り出ない場合は、岡山県動物愛護センターに引き渡します。その後、約1週間の収容期間を過ぎると殺処分されます。

す。かわいそうな犬を減らすためにも、犬を放さないように心掛けてください。

■問い合わせ先
 生活環境課
 HP <http://www.city.setouchi.jp/life/mayoinu.html>

おひなさまフェスタを開催します

瀬戸内市消費生活問題研究協議会邑久グループでは、おひなさまフェスタとおひなさまの展示を行います。歴史あるおひなさまや、会員が1年をかけて作った、余り布を使った吊り下げ雛を展示します。

リサイクルを楽しみながら、桃の節句を一緒に楽しみませんか。

▷場所 リサイクルプラザ・おく
 (邑久町尾張483-6)

【おひなさまフェスタ】

▷日時 2月24日(日) 午前9時～午後3時

▷内容

- ・和紙でおひなさまづくり(午前10時～午後2時)
- ・抹茶(上用まんじゅう付き)
- ・コーヒー(マドレーヌ付き) ※1杯100円

【展示】

▷日時 2月24日(日)～3月3日(日)

午前9時～午後4時

※期間中は無休です。

■問い合わせ先 リサイクルプラザ・おく



かわいいおひなさまを見に来ませんか

ゆとりを持った運転を スピードダウン運動

自動車などの最高速度違反(スピード違反)は死亡事故につながりやすく、注意が必要です。

気ぜわしい時期は、特に制限速度を守り、次のことに気をつけ、心にゆとりを持って運転をしましょう。

①安全な速度で運転

通行している道路は、どれくらいの速度で走ったらいいのか、標識や標示を確認しましょう。

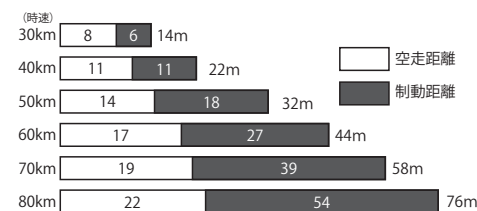
最高速度の範囲内でも、道路や交通の状況、天候や視界などをよく考えて、安全な速度で走りましょう。

②車間距離は十分に

車は急には止まれません。危険が発生した場合でも、安全に停止できるような速度で運転しましょう。特に、高速道路や冬場の積雪、凍結した道路を走るときは、車間距離を十分とりましょう。

③夜間は特にスピードの出し過ぎに注意

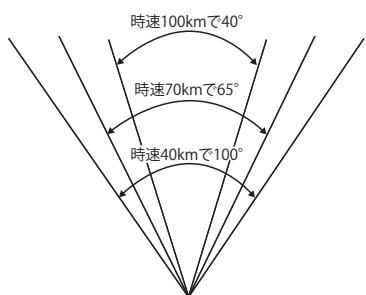
停止距離(空走距離+制動距離)



停止距離とは、空走距離(車両の運転手が停止の必要を感じたときからブレーキが利き始めるまで(約1秒間)に走行する距離)と制動距離(実際にブレーキが利き始めてから止まるまでの距離)を合計した距離。雨天の場合は、この長さの1.5倍以上となる。
 出典：「スピードダウンプロジェクト おかやま」チラシ

動いているものを見る時の視力「動体視力」は、スピードが速くなると低下していきます。また、スピードを出すと視界も狭くなるので、危険の発見が遅れたり、見落としが起りやすくなります。スピードを落として、しっかり周囲を確認しながら運転しましょう。

動態視野



出典：「スピードダウンプロジェクト おかやま」チラシ

⑥事故防止の基本は「安全運転」

交通ルールやマナーを守ること、決して無理をせず、焦らず、心と体「ゆとり」をもって安全運転を心掛けましょう。

■問い合わせ先
 地域安全推進室
 ☎0869・22・3904